

令和7年6月市議会定例会議案概要説明

令和7年6月市議会定例会は、6月5日に招集することで、本日、告示を行いました。

6月議会に提案いたします議案としては、甲議案として5件、乙議案として1件、報告13件の計19件について提案し、ご審議をお願いすることとしております。

なお、人事案件であります「鳥栖市固定資産評価員の選任について」は、後送議案といたします。

今回提案する6月補正予算につきましては、

- ・子供達が安心して学べる、安全で快適な学校づくり
 - ・賑わいを創る、魅力的な公園・スタジアムへ
 - ・山浦PAスマートIC（仮称）設置の可能性を更に深く検証
- など、一般会計で約12億1千9百万円の補正予算となります。

それでは、令和7年度6月補正予算の概要につきまして、説明いたします。

鳥栖市重点戦略に対応する新規事業等



第7次鳥栖市総合計画において、特に私の公約との親和性が高い事業を「重点戦略」として位置付けております。

「重点戦略」を構成する7つの柱のうち、今回の補正予算につきましては、6つの柱について予算を提案いたしました。

子育て支援と学校教育が充実した都市づくり

○小中学校屋内運動場空調設備設置検討事業 3,599千円 **新規**

体育の授業や中学校部活動時の熱中症対策、避難所活用の際の避難者の環境向上のため、全ての市立小中学校の体育館に空調（冷房）を設置するための調査を行います。



空調整備イメージ（市民体育館）

○小中学校校舎躯体調査事業 2,600千円 **新規**

鳥栖小学校及び鳥栖中学校の校舎の主な構造部分の安全性を調査し、現状を把握します。

3

まず、「子育て支援と学校教育が充実した都市づくり」でございます。

『小中学校屋内運動場空調設備 設置検討事業』につきましては、体育の授業や中学校部活動時の熱中症対策、避難所活用の環境向上のため、全ての小中学校の体育館に空調（冷房）を設置するための調査を行うものです。

『小中学校校舎躯体調査事業』につきましては、外壁剥離や雨漏り等、発生していることから、鳥栖小学校及び鳥栖中学校の校舎の主な構造部分の安全性を調査し、現状把握を行うものです。

子育て支援と学校教育が充実した都市づくり

○小中学校校舎外壁改修事業 45,450千円

鳥栖北小学校、基里小学校、鳥栖中学校の校舎外壁調査の結果に基づき、改修工事を行います。



劣化状況（鳥栖小）

○若葉小学校築山撤去等事業 25,000千円

若葉小学校の築山が崩れ、樹木の根や遊具の基礎部分が露出し危険であるため、築山を撤去し、それに伴う遊具の移設等を行います。



若葉小学校築山

4

『小中学校校舎外壁改修事業』につきましては、令和6年度に実施した校舎外壁調査の結果に基づき、鳥栖北小学校、基里小学校、鳥栖中学校の校舎外壁改修工事を行うものです。

『若葉小学校グラウンド築山撤去工事』につきましては、安全面を考慮し、若葉小学校グラウンド内の築山を撤去し、それに伴う遊具の移設等を行うものです。

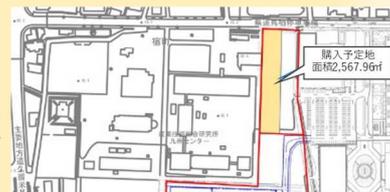
くらしに活力と豊かさを感じる都市づくり

○中央公園整備事業 16,510千円 **新規**

市の中心部に位置し、多くの人々に利用される中央公園について、官民連携を視野に入れつつ、全体的な在り方を検討する基本計画を策定します。

○市民公園整備事業 89,500千円

令和5年度に策定した市民公園整備基本計画に基づき、芝生広場等公園施設として整備するため、産総研跡地の佐賀県有地を購入します。



○都市公園遊具等改修事業(公園施設長寿命化事業) 80,700千円

鳥栖市公園施設長寿命化計画に基づき、朝日山公園芝広場のトイレ改修を行います。

5

次に、「くらしに活力と豊かさを感じる都市づくり」でございます。

『中央公園整備事業』につきましては、官民連携を視野に入れつつ、地域の賑わい拠点となる公園施設へ、リニューアルするため、全体的な在り方を検討する基本計画の策定を行うものです。

『市民公園整備事業』につきましては、令和5年度に策定した市民公園整備基本計画に基づき、芝生広場等公園施設として整備するため、文化会館西側の産総研跡地の佐賀県有地を購入するものです。

『公園施設長寿命化事業』につきましては、鳥栖市公園施設長寿命化計画に基づき、朝日山公園芝広場のトイレ改修を行います。

まちのポテンシャルを高める都市づくり

○山浦PAスマートIC(仮称)調査検証事業 15,000千円

山浦パーキングエリア周辺状況の把握を行い、当該箇所への設置の可能性及びインターチェンジへの接続道路等、具体的検討を深めていきます。

○50戸連たん区域指定事業 4,609千円

水屋町における既存集落の維持・活性化を図ることを目的として、佐賀県都市計画法施行条例に基づく50戸連たん制度の区域指定のため、県への申出に係る調査業務を実施します。

○天神松・河内線道路改良事業 10,000千円 **新規**

河内町の県道九千部山公園線が豪雨災害等により通行止め等が発生した際の迂回路として、安全な通行を確保するため道路改良を行います。



6

次に、「まちのポテンシャルを高める都市づくり」でございます。

『山浦PAスマートIC(仮称)調査検証事業』につきましては、山浦パーキングエリア周辺状況の把握を行い、当該箇所への設置の可能性及びインターチェンジへの接続道路等、具体的検討を深めていきます。

『50戸連たん区域指定事業』につきましては、水屋町における既存集落の維持・活性化を図ることを目的として、佐賀県都市計画法施行条例に基づく50戸連たん制度の区域指定のため、県への申出に係る調査業務を行うものです。

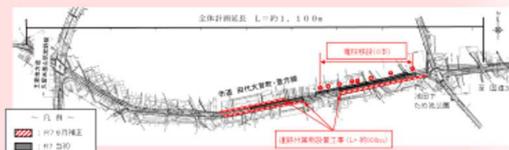
『天神松・河内線道路改良事業』につきましては、令和5年の豪雨災害により、河内町の県道九千部山公園線の一部が通行止めとなった際に当該路線を迂回路として利用していましたが、幅員が狭く離合も困難な状況であったため、安全な通行を確保するため道路改良を行うものです。

まちのポテンシャルを高める都市づくり

○田代大官町・萱方線等道路改良事業

43,388千円

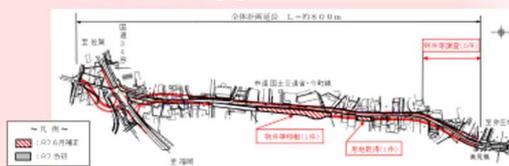
車両や歩行者等の円滑で安全な通行確保のため道路改良等を行います。



○国土交通省・今町線等道路改良事業

26,900千円

道路改良に必要な調査業務等を行います。



○橋梁長寿命化事業 34,500千円

鳥栖市橋梁長寿命化修繕計画に基づき、計画的かつ効率的な維持管理を行います。

7

『田代大官町・萱方線等道路改良事業』をはじめとする3事業につきましては、着実な市道整備や維持管理を進めるためのものがございます。

命が守られ、安全・安心して暮らせる都市づくり

○予約型乗合タクシー実証運行事業 9,542千円

高齢者等の交通弱者や、公共交通の利用が不便な地域への新たな移動手段として、利用者の予約に応じて乗合運行する「予約型乗合タクシー」の実証運行を行います。



予約型乗合タクシー（イメージ）

運行期間：令和7年11月～令和8年3月
車両・台数：タクシー車両（定員5名）2台
運行エリア：市内を2エリアに分け隔日運行
（ミニバスの運行と重複しないエリア設定）
運行日・時間：月曜～土曜、午前9時～午後5時まで
（日、祝日、12/29～1/3は運休）
利用料金：未定（タクシーと路線バスの運賃を参考に設定）

R7年度当初予算 10,099千円 システム構築等

8

次に「命が守られ、安全・安心して暮らせる都市づくり」でございます。

『予約型乗合タクシー実証運行事業』につきましては、高齢者等の交通弱者や、公共交通の利用が不便な地域への新たな移動手段の確保策といたしまして、利用者の予約に応じてAIが最適なルートを選択しながら運行する「予約型乗合タクシー」の実証運行を行うものです。

システム構築に引き続き、11月から実証運行を実施し、本市における適性を見極めてまいりたいと考えております。

命が守られ、安全・安心して暮らせる都市づくり

○消防団の力向上モデル事業 4,998千円 **新規**

大規模災害が発生し、災害対策本部を設置した場合等に、市と災害現場で活動する消防団がリアルタイムで被災情報を取得でき、災害対応の指揮を行うことができるよう可搬型ビデオ会議システム等の導入により情報連携体制を構築し、防災力強化に努めます。

○定額減税調整給付金給付(不足額給付)事業 235,722千円

令和6年度に実施した定額減税調整給付において、「本来給付すべき所要額」と、「当初調整給付額」との間で差額が生じた方等へ、不足額を給付します。

9

『消防団の力向上モデル事業』につきましては、消防団がリアルタイムで被災情報を取得でき、災害対応の指揮を行うことができるよう、可搬型ビデオ会議システム等を導入するものです。平時においても継続的に使用することで、突発的に発生する災害時においても円滑に連携できる体制を整え、防災力強化に努めます。

『定額減税調整給付金給付（不足額給付）事業』につきましては、令和6年度に実施した定額減税調整給付において、「本来給付すべき所要額」と、「当初調整給付額」との間で差額が生じた方等へ、不足額を給付するものです。

市民と環境にやさしい都市づくり

○スタジアム改修事業(夜間照明施設改修事業) 450,012千円 **新規**

スタジアム夜間照明施設の長寿命化、環境負荷の軽減及び施設の利便性向上を図るため、夜間照明施設のLED化を行います。



駅前不動産スタジアム

次に、「市民と環境にやさしい都市づくり」でございます。

『スタジアム改修事業（夜間照明施設改修事業）』につきましては、スタジアム夜間照明施設の長寿命化、環境負荷の軽減及び施設の利便性向上、また、スタジアムの賑わい創出のため、夜間照明施設のLED化を行います。

効果的・効率的な行政運営のための行財政改革

○自治体DX推進事業(「書かない窓口」充実事業) **拡充**

「書かない窓口」を充実し、住民サービスの向上を図ります。

- ▶ 高齢障害福祉課、こども育成課、保険年金課の窓口カードリーダーによる取込機能を追加し、マイナンバーカードからの情報の取り込みによる申請書作成手続のさらなる簡略化等を図ります。
- ▶ 多言語・顔認証に対応した総合受付支援システムとして、タブレット兼カードリーダーを新設(市民ホールに配置予定)し、外国人も利用しやすい窓口環境を目指します。

20,308千円

- ▶ 現在の「書かない窓口」は、転出証明書等を提示するだけで、記入することなく、住民異動届及び住民票請求等の申請書を同時に作成できますが、さらに、異動届のデータを住民記録システムへ自動的に取込、登録することで、住民の手続きに要する時間の短縮・登録制度の向上を図ります。

15,727千円

11

最後に、「効果的・効率的な行政運営のための行財政改革」でございます。

『自治体DX推進事業(「書かない窓口」充実事業)』につきましては、各種支援システムの拡充や改善等により、「書かない窓口」を充実し、住民サービスの向上を図るものでございます。

効果的・効率的な行政運営のための行財政改革

○電子契約システム導入事業 **1,353千円** **新規**

クラウド上で電子契約書を取り交わす、電子契約システムの導入により、市と事業者双方の契約事務の効率化、利便性向上及び負担軽減を図ります。

○自治体DX推進事業(基幹系情報システム標準化移行事業) **37,838千円**

国の「自治体DX推進計画」により、令和7年度までに、自治体情報システムの標準化・共通化及びシステムの移行に取り組みます。

令和7年度 6月補正予算 12億1,900万3千円

(補正後 348億9,595万5千円)

対前年度同期 予算比較	補正額	△1億7,209万3千円	△12.4%
	(補正後)	+27億9,505万6千円	+8.7%

12

『電子契約システム導入事業』につきましては、クラウド上で電子契約書を取り交わす、電子契約システムの導入により、市と事業者双方の契約事務の効率化、利便性向上及び負担軽減を図るものです。

『自治体DX推進事業（基幹系情報システム標準化移行事業）』につきましては、今年度までに、自治体の基幹系情報システムの標準化・共通化及びガバメント・クラウドへのシステムの移行を行うものでございます。

以上が、6月補正予算の主な内容となりますが、今回の補正額は、12億1,900万3千円を補正し、補正後の一般会計予算額は348億9,595万5千円となります。